朝日新聞と毎日新聞の高校野球に対する報道の違い

Difference in coverage of high-school baseball between the Asahi and Mainichi Newspapers

1K10C267－3　坪井将樹
主査　リー・トンプソン　先生　　副査　寒川恒夫　先生

【研究目的】

日本の高校野球には春の選抜高校野球大会と夏の全国高校野球選手権大会という二大大会がある。この二つの大会の起源についてであるが前者は毎日新聞社が考案、主催したもので後者は朝日新聞が考案、主催したものである。新聞社が大会を主催した理由は大会を主催することで独自の記事を作り、読者を増やすためであった。つまり春の選抜高校野球大会と夏の全国高校野球選手権大会は新聞社が読者を増やすための宣伝道具として利用されたのである。大会が宣伝の一環として利用されたということは大会の記事内容に何かしらの影響が出ると考え調べることにした。

【仮説】

① 「朝日新聞は高校野球記事面積の割合が春の選抜高校野球大会より夏の全国高校野球選手権大会の方が大きい」

② 「毎日新聞は高校野球記事面積の割合が夏の全国高校野球選手権大会より春の選抜高校野球大会の方が大きい」

【研究方法】

調査年：1915 年（大正 4 年）、1924 年（大正 13 年）、2009 年（平成 21 年）、2013 年（平成 25 年）それぞれの春の大会と夏の大会開催期間

調査方法：①1 日分のスポーツ面の高校野球に関する記事÷1 日分の紙面量×開催日数

②、①の結果を各大会の開催日数分で割ることで平均が算出される。

③、②で出た数値をパーセンテージで表示する。

【結果】

春の大会に着目すると毎日新聞の高校野球記事の平均記事面積の割合が 8.032％であるのに対し朝日新聞の平均記事面積の割合は 2.974％という数値が出ており毎日新聞は朝日新聞の約 2.7 倍大きいということが読み取れる。夏の全国高校野球選手権大会については朝日新聞の高校野球記事の平均記事面積の割合が 23.971％であるのに対し毎日新聞の平均記事面積の割合は 11.374％という数値が出ており朝日新聞は毎日新聞の約 2.1 倍大きいということが読み取れる。以上のことから大会を主催する新聞社の記事面積が大きいということが言える。

【考察】

研究結果から考えられることとして春の選抜高校野球大会を考案、企画した毎日新聞は春の選抜高校野球大会に関する記事量が朝日新聞より多いということが言える。一方で夏の全国高校野球選手権大会を考案、企画した朝日新聞は夏の全国高校野球選手権大会に関する記事量が毎日新聞より多いということが言える。

以上のことから以下の二つのことが考えられる。一つ目に関して新聞社は独自の記事を書くために大会を企画し読者を増やそうとしたということである。二つ目に関してメディアが報道する内容は純粋にスポーツを報道しているのではなく広告という意味合いが含まれているということである。
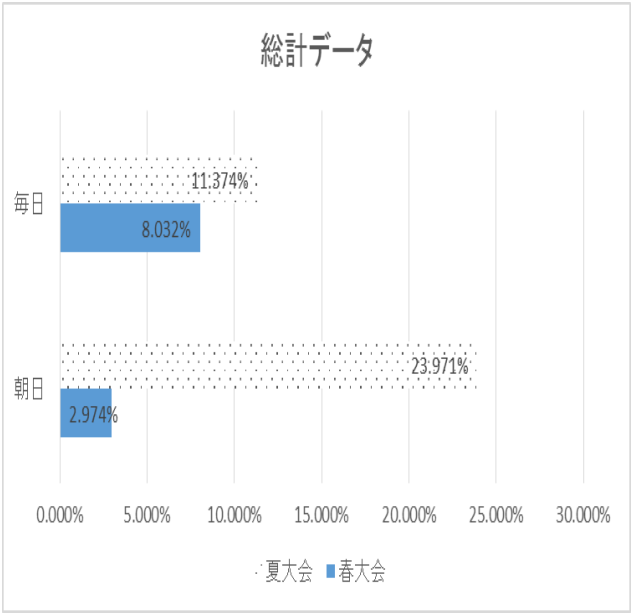
表1：研究方法をもとに調査した結果